

履修モデル

応用経済学専攻の学生について、学生の希望進路に応じ、次の 3 つの履修モデルを例示する。

(1)経済専門コース

☆「経済専門コース」は経済経営の知識をさらに深めた後、一般企業や金融機関でエコノミスト等として活躍することを目指す者を対象としたコースであるが、推奨科目は上記コア科目のほか、下記科目の通りである。

応用マクロ経済学、応用ミクロ経済学、応用計量経済学、経済数理分析、国際金融理論、国際金融市場論、経済学専門文献研究(基礎編)、経済学専門文献研究(応用編)、金融経済論、応用金融経済論、会計学 等

(2)企業マネジメントコース

☆「企業マネジメントコース」は企業の中堅幹部・地域中小企業の経営を目指す者や中小企業のコンサルタント志望者を対象としたコースであるが、推進科目は上記コア科目のほか、下記科目の通りである。

応用ミクロ経済学、環境経済学、環境政策論、流通経済論、マーケティング論、地方財政論、ベンチャー企業論、東アジア経済論、労働経済学、現代社会政策論、会計学 等

(3)会計・税務コース

☆「会計・税務コース」は税理士・公認会計士等、税務分野のスペシャリストを目指す者を対象としたコースであるが、推奨科目は上記コア科目のほか、下記科目の通りである。

租税法総論、租税法各論、国際租税法総論、国際租税法各論、消費税法、国税通則法、所得税法、相続税法、リーガルリサーチ、マーケティング論、会計学、税務会計論、財務諸表論 等